



アライはオワン型を出すでしょうか?

このところ、街の中でオワン型を見かけることが多くなりました。実際に、ヘルメットの市場においても、オワン型の比率は着実に高くなってきているようです。商売としても、オワン型というのが無視できない存在になっているのは事実です。

そんな中、「アライもオワン型を作らないか」とのお問い合わせをいただくことが多々あります。「アライのオワン型なら買いたい」とまで言ってくださるお客様もいます。ありがたい話です。でも、そのようなお問い合わせに対しては、「アライとしては、作る予定はありません」とお答えしています。そこで、なぜ作らないのか、改めてお話しさせていただきます。

アライの創始者、新井広武は、日本におけるヘルメットの創始者でもあります。氏が作った日本最初のバイク用はオワン型でした。だから、アライのルーツはオワン型です。60年代、アライの主流はオワン型でした。そのオワン型が、それまでノーヘ

ルだったライダーの安全に大きく貢献したのも事実です。でも、それから30年。世の中は大きく変わりました。

まず、車の性能が大きく向上しました。それはバイクに限らず、全ての車について言えることです。性能の向上した車が走るのですから、少々空いている道を見ていればお分かりのように、車の流れる速さは当時とは比較にならないものです。さらに、その速さで走る車の量も当時とはケタ違いです。このように、交通の事情は大きく変わりました。だから万一の場合、頭部に加わる衝撃も、打つ箇所、打つ速度、打つ相手など、ヘルメットに対する要求の度合いは、オワン型の時代とは大きく変わったのです。

アライの作るヘルメットが、保護範囲の大きいジェットやフルフェイスへと変わっていったのも、交通の現場が変わったからです。そして現在、オワン型が国の規格により原付専用になっているのも、そんな背景があるからです。

そのような時代から今日まで、安全に対して真面目に取り組んできたおかげでしょう、アライの名前も広く、世界的に認めいただけるまでになりました。4輪のF-1でも、7割近いトップの方々がアライユーザーであるほどです。これも全て、アライの安全に対する姿勢を認めていただけたからでしょう。アライがあるのは、そんなアライを認めてくださる、お客様のおかげです。

については、オワン型に対するお問い合わせについて、改めてお答えします。オワン型は、国の規格によれば「原付専用」であり、普通のバイクで使うのは、やめときなさい、と言うヘルメットです。一方、アライのお客様は、アライの安全性を信用してくださる方々です。そのようなお客様に対し、安全性に疑問のある「原付専用」のオワン型を、おすすめすることなどできるでしょうか。アライにはできません。以上の事由により、オワン型を作る予定はありません。

ご賢察のほど、よろしくご願ひ申し上げます。